

【基本理念】 多種多様な学びと地域の教育力を通じて、一人ひとりが心豊かで幸せを感じられる人生を送ることができるとともに、持続可能な社会を支える人を育てる

静岡県教育大綱は、乳幼児から高齢者まで、全ての市民が対象です。

それぞれのライフステージに合わせた学びの実現と、地域で見守り、支え合い、高め合うシステムを構築し、地域や社会全体の「大きな知と力」をつなげ、新しい価値を共に生み出す「共創」を促進し、みんなで子育てや教育を支えていく「安心感がある温かい社会」を築きます。

そのような社会の下、一人ひとりが自らの幸せを感じることができるとともに、学びを通じた成長により、持続可能な社会を支える「人づくり」を行っていきます。

No.	基本方針（案） 趣 旨	重点的な取組（案）
1	<p style="text-align: center;">子どもの豊かな心と健やかな体を育む</p> <p>「子どもの誕生前から幼児期まで」は、子どもの生涯にわたる幸福感の基礎を培い、人生の確かなスタートを切るために最も重要な時期です。</p> <p>この時期における子どもは、生きるために基本的なことの全てにおいて、保護者や身近な大人に依存し、影響を受けます。そして、この時期に子どもと保護者の間で安定した愛着が形成されることで、子どもは、周囲の人や社会への信頼感と安心感をもつとともに、自分自身がかけがえのない個性ある存在と認められることで、自己肯定感をもって、成長することにつながります。</p> <p>このような乳幼児期の内なる世界における人との関わりの中、豊かな「遊びと体験」を通じて、子どもは、外の世界への挑戦を重ねていくことで、創造性や好奇心、想像力などを養い、運動能力を高めていきます。</p> <p>安定した「愛着形成」と豊かな「遊びと体験」により、社会の中で生きていくための基本的な能力の形成につなげていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 温かな家庭環境の形成と、幼児教育・保育の質の向上を通じて、子どもの豊かな心の成長を支援する。 □ 年齢や発達に応じて、多様な遊びと体験の機会を提供する。 <p>（取組例）・親子で参加できる子育て教室、イベントの開催 ・廃校などの地域資源を活用した子どもの遊び場の整備</p>
2	<p style="text-align: center;">確かな学力と幅広い知識や教養、豊かな人間性を高める</p> <p>これまでの「同じペース」「同じ内容」「同じ方法」にとらわれない、個々の状況に応じた学びを提供することで、個人それぞれがもつ資質・能力を高めるとともに、クラスや学年の境界を越えて混ざりあい、学び合うことで、多様性を認める寛容な社会の形成にも寄与します。</p> <p>また、「正解（知識）の暗記」、「正解主義」に偏った内容から脱却し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」につながる教育を実践することは、学校のみならず、地域や社会、自然、文化などとの関わりをもち、身の周りにある課題を自ら考え、主体的に対応することができる力を養います。</p> <p>他者との協働や自ら課題を発見し、自ら答えを導き出す力を育むことを目的とした課題解決型学習などの実践により、深い学習を体験し、自ら思考することを重視する考え方は、義務教育の範囲にとどまらず、のちの高等教育や生涯学習においても、重要になってきます。</p> <p>自己の主体性を軸にした、学びに向かう一人ひとりの能力や態度を養うことで、生涯を通じて学び続ける人材の育成につなげていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 従来の「みんなで同じことを、同じように」する学習方法にとらわれない、多様性を重視した学びの機会を提供する。 □ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。 <p>（取組例）・1人1台端末を活用した遠隔地の専門家とつないだ授業や、他の学校や地域、海外との交流の実施 ・自ら課題を設定するとともに、企業との連携や実証実験等を通じて、解決に向けた道筋を追究する探究学習の実施</p>
3	<p style="text-align: center;">新たな時代で活躍する多様な才能・能力を伸ばす</p> <p>これからの学校教育においては、従来の画一的な教育による弊害を排除し、一人ひとりの多様な才能・能力を埋もれさせず、どのように伸ばしていくかという視点が重要です。</p> <p>社会の持続的な発展のため、地球規模の諸課題を自らに関わる問題として捉え、デジタルやグリーン（脱炭素）など、これからの社会の価値創造において重要な分野（成長分野）で活躍する人材を育てるため、それら人材の存在を身近に感じ、将来の自分と重ね合わせ、目指すことのできる環境を整えます。</p> <p>そして、これからの日本、世界で活躍する人材を輩出に向け、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく人材の育成を目指した起業家教育（アントレプレナーシップ教育）を展開していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 大学や企業と連携し、個々の才能・能力を伸ばす高度な学びの機会を提供する。 □ デジタルなどの成長分野で活躍する人材や起業家が生まれる環境を整える。 <p>（取組例）・科学技術、理数科教育に特化したスーパーサイエンスハイスクールの指定をはじめとした、学校現場における独自カリキュラムの開発や大学等との連携の推進 ・中学校や高等学校におけるスタートアップ起業家との交流機会や起業体験プログラム等の提供</p>

No.	基本方針（案） 趣 旨
4	<p style="text-align: center;">生涯にわたって学び、成長する好循環を生み出す</p> <p>人生100年時代において、入社から定年まで同一企業で働く単線的な人生のモデルから、キャリアの途中で学び直しや転職、起業など、働き方や生き方が多様化する人生へ転換することが予測されています。</p> <p>こうした社会の構造的な変化に対応するため、学校教育における学びの多様化とともに、社会人の学び直しとしてのリカレント教育※をはじめとする生涯学習の必要性が高まっています。</p> <p>特に、社会の持続的な発展を支える観点から、複雑化・高度化する企業課題や産業ニーズに対応して、自らの知識や技能をアップデートできる高度専門人材を育成していくリスクリング的な視点が重要です。</p> <p>どのようなライフステージにおいても、主体的に学び、実践を通じて、成長（キャリアアップ）することで自らを高めていく、そのような好循環を生み出すため、誰もが、学びたいときに、学びたい内容を学ぶことができ、それらを活用することのできる機会を提供していきます。※リカレント教育とは、学校教育を修了した後においても、自らの必要に応じて、再び学校等で受ける教育を指します。職業に必要とされるスキルを身につけるためのリスクリングや、職業とは直接的に結びつかない知識や教養等に関する学び直しを含む概念として用いられます。</p>
5	<p style="text-align: center;">誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す</p> <p>一人ひとりの幸福感を高めるためには、多様な人材の参画により、活力あふれる社会を実現していく必要があります。</p> <p>その実現に向けて、誰一人取り残されず、年齢や発達の程度に応じた、様々な機会が提供されることによる、全ての人が可能性を広げることができる環境が重要です。</p> <p>近年、不登校児童生徒数は増加傾向にあります。また、貧困や虐待など、子どもが抱える多様な課題は、本人・家庭・学校に関わる様々な要因が重なり合っていることから、従来の考え方にとらわれることなく、個々の状況に応じた、きめ細かな対応が求められます。</p> <p>多文化共生の観点から、地域の国際化が進む中、本市に居住する外国人の学びを保障するための取組も合わせて実施していきます。</p>
6	<p style="text-align: center;">教育・保育を支える人々が安心感や幸福感をもてる環境を整える</p> <p>保護者の幸福感を高めることが、子どもの幸福感を高めていく上でも欠かせないことから、保護者が健康で、自己肯定感とゆとりをもち、子どもに向き合えるよう、社会全体で切れ目なく支えていくことが重要です。</p> <p>身近に相談相手のいない状況にある保護者も増えており、それら保護者が一人で悩みを抱え込まないよう、訪問型など保護者に寄り添う家庭教育支援により、乳幼児から就学期以降にわたる切れ目ない支援を実施していきます。</p> <p>また、家庭以外の、教育や保育現場においては、そこで生じる負担を教師など個人の努力だけで解決させるのではなく、デジタル技術の活用による事務量の削減や、外部人材の活用など、地域の多様な資源を教育や保育現場に取り入れることによる、問題を根本的に解決するための持続可能なシステムを構築していきます。</p>

重点的な取組（案）
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自らの知識や技能をアップデートするリスクリングの視点を含め、地域社会・経済を支える実学重視のリカレント教育を提供する。 <input type="checkbox"/> 生涯を通じて学び、実践により成長できる機会を提供する。 <p>（取組例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関や産業界等と連携した、データ分析など実務に活かすことのできるリスクリング機会の提供 ・学ぶだけでなく、学んだ先も見据えた、就労支援を含むリカレント教育の提供
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 発達の気になる子に対する早期支援とライフステージに応じた切れ目のない支援を行う。 <input type="checkbox"/> 学びを保障するための子どもの貧困や不登校対策や外国人支援などを行う。 <p>（取組例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員等の専門人材の配置拡充による、多様な子どもたちへの日常生活や学習上のきめ細かな支援 ・校内に誰もが通えるサポートルーム（別室）を設置するなど、子ども一人ひとりの特性に応じた教室以外の居場所づくり ・留学生に対する市営住宅の提供や就職支援などの安心して学べる環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 経済的な不安や孤立感に悩むことなく幸福感をもって子育てができるよう保護者を支援する。 <input type="checkbox"/> 教育・保育現場の困難を、教師など個人の努力だけに頼るのではなく、根本的に解決するためのシステムを構築する。 <p>（取組例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産、子育ての各ステージにおける、保健師や助産師などの専門職による家庭訪問支援 ・退職教員等の外部人材を活用した教員多忙化対策